

研究 REPORT
レポート

こんな人 メモ

「投薬も服薬も安全安心」をテーマに、蛍光色素や蛍光プローブと呼ばれる「マジック薬」の開発と医療ユニバーサルデザイン研究を進め、平成21年に兵庫県から「ユニバーサル社会づくり賞知事賞」を受けた。趣味はお酒を飲むこと。「おいしいお酒なら何でも。起きている間、限りなく飲みたいくらい」と破顔した。おいしい肴を求めネット情報や門構えでなく、自分の感性で店を探すそう。小学4年生から野球を始めたが、始めた動機はリトルリーグのかっこいい帽子だった。サードと投手、大阪府立今宮高校2年では府大会ベスト8まで進んだ。長嶋茂雄のファンで「華やかだが隠れた努力の人、泥臭くて男臭い、尊敬している」ともいう。ユーモアのセンスは学生時代からあった。「私は前田家で初の男の孫で“初男”という名前になったそう。アメリカでアイ・アム・アダムと自己紹介したら大うけでした」。

くすりの「見える化」で安全・安心な治療環境を 薬学部 医療薬学科 教授 前田 初男

薬学への道

誰でも、いつでも、どこでも、どんな使い方でも、見たいものを光らせる薬を開発したい——開学以来、生体分析化学を担当する前田初男教授の研究テーマの1つが「見える化薬」、もう1つが「見える化ユニバーサルデザイン(U.D)」の設計開発だ。

「叔父に大阪大学医学部内科出身の医者がいて、薬の効力についても話を聞いていましたし、「インフルエンザと水虫の薬を発見するとノーベル賞がもらえる」と言うので、狙いが決まりました」。思い立ったら一途、一浪して大阪大学薬学部入学、大学院でも薬品化学を専攻、米国ミネソタ州立大学で3年間化学科の博士研究を経て大阪大学薬学部助手、助教授となった。「ノーベル賞も薬学を目指した動機ですが、血が苦手だったからというのもあり、解剖実習の見学で気持ちが悪くなりました。臨床医を見ていると患者さんの対応なども大変だなと思いますし、有機化合物はものを言わないので、つくづく薬学でよかったと思います」と笑った。

薬の「見える化」とは？

「見える化薬」の研究は現在、①重金属イオン②典型金属イオン③生体分子④抗がん剤をターゲットに取り組んでいる。重金属イオンであるカドミウムや水銀などを試薬によって光らせ「見える化」する研究は、健康に害を及ぼす

物質の混入を防ぐなど、飲食物品や漢方薬の原料としての安全・安心を担保するために不可欠であり、カドミウムイオンでは既に「見える化薬」の開発に成功している。②と③は再生医療などの最先端研究への貢献を目指した。また、樹脂に付着したり、オムツに排泄されたり、シーツにしみ込んだりした抗がん剤を「見える化」できれば、健康な細胞に対しては毒性の強い抗がん剤に、薬剤師や医師、患者や介護者が曝されることを防ぐことができ、安全・安心な薬物治療環境を構築するための一助となる。「見える化」に向けて、学生、研究生らと悪戦苦闘の日々だ。



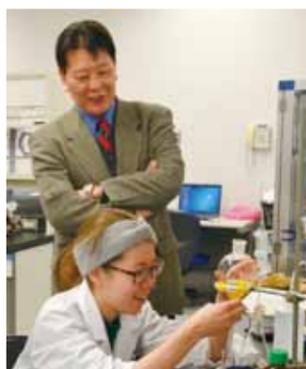
「見える化U.D」は患者さんに薬を取り間違えなく飲んでもらえるよう、錠剤の識別を容易にする研究だ。国内の錠剤はアメリカに比べ、白または白に近い色彩領域に偏在しており、取り違えの原因にもなっていることが分かった。そこで、研究室では「お薬くっきり」を実現するため、まず評価実験を行い、そこからもっとも識別に適したダークグレーを選択し、一包化調剤監査用シートや服薬トレイを開発した。健常者だけでなく白内障患者や色弱者に

とって識別しやすくなった、と評価を得ている。



今後の研究に向けて

五感の中で視認して確認する、眼から得られる情報が90%だといわれている。そこに「見える化」の使命、意義があると話す。「研究は嘘をつかない。考えて、作って、使って、考える。汗をかき、やればやっただけ積み重ねになり、裏切らない。薬の顔、化学構造式をしっかりと理解して眺めれば、自然と薬の適応が分かるようになります」と後輩にエールを送る。現在は、血圧の調整と記憶を回復する薬、最終的にはボケ防止の治療薬の開発を進めている。「できるかも」と自信を見せた。



病院長就任のご挨拶 <4月1日就任>



病院長 難波 光義

創立40周年を超え、さらなる成長に向けて歩を進める学校法人兵庫医科大学。その中で、「良き医療人」の育成とともに、経営基盤を担い続けてきた兵庫医科大学病院も着実な発展を遂げつつあります。この10年間は本学にとって、阪神・淡路大震災の痛手から立ち上がったとはいえ、診療報酬面での向かい風や新研修制度の荒波の中で、何とか有能なマンパワーを蓄積しながら、ギアをセコンドに入れた時期であったように思います。小職は本学に奉職して13年になりますが、とくにこの5年間は、糖尿病・内分泌・代謝科部長のかたわら、副院長の一人として診療体制・経営企画面で太城力良前病院長をお手伝いしてまいりました。昨今では、本院がそのブランド力を確実にアップしてきていることをとても頼もしく感じています。

太城前病院長のリーダーシップと法人あげでの注力の結果、見事に完成し2013年春に稼働を始めた急性医療総合センターでは、救急部門・IVRセンター・手術センターに加えてそれぞれのケアユニットがフル稼働しつつあります。そこでは、集学的先端医療がダ・

ヴィンチをはじめとする最新医療機器を駆使して日夜展開されており、若手医師と関連医療職が先輩達の情熱的指導を受けながら、有能なScientistを目指して生き生きと活躍しています。その一方、病室や外来診察室では病める患者さんやその関係者の悩みに耳を傾け、苦しみを共有して解決への糸口を見出すため、共に歩もうとする若き医療者のArtistとしての姿もみられます。

彼らが強固に結びついたチーム医療の一員として日夜勤しむその臨床現場は、本学が目指すべき基本構想として掲げられ、今日すでに進捗中である第2次中期事業計画の「社会から信頼され、チーム医療を実践できる医療人」が育成されつつある姿そのものであります。

小職は、兵庫医科大学病院をScience「知」とArt「情」の両者がバランスよく兼ね備わった「良き医療人」の醸成の場にしたいという夢もっています。今後はその夢の実現に向け、全病院職員のフロントに立って一意専心努力してゆく所存です。

これまでと変わらぬ、ご指導・ご協力をお願い申し上げます。



■ 副院長 就任挨拶 <4月1日就任>

手術センター・教育研修体制担当



心臓血管外科学
宮本 裕治

この度、難波院長のもとでも引き続き副院長を拝命しました心臓血管外科の宮本です。担当は手術センター・教育研修体制で、色々課題の多い分野です。手術センターでは、効率のよい運営を行い、職員が充実感を持って働ける環境づくりを目指しています。現状では、忙しすぎで疲弊しモチベーションを保てない職員がいる状態です。これを改善しひいては手術数の増加につながるよう努力したいと思います。

また卒後教育研修体制については、兵庫医大での臨床研修体制を、研修医にとって魅力あるプログラムにする必要があります。研修医の希望が反映できるようにプログラムに多様性を持たせて、兵庫医大を希望する研修医を広く募集できるように他の先生方と協議を重ね進めたいと思っています。

医療安全・危機管理・経営企画担当



耳鼻咽喉科学
阪上 雅史

この度、難波院長のもとで医療安全・危機管理と経営企画担当の副院長を拝命しました。兵庫医大に赴任して以来19年間、中内耳手術に専念し、最近2年間は医療安全管理部長として、安全管理部の医師・師長・薬剤師・事務方と共に、「人は誰でも間違えるーより安全な医療システムをめざして」をモットーに、医療事故防止のための安全管理体制の確立に努めて参りました。幸いこの2年間重大な事故はありませんでしたが、100%はありません。安全管理部一同、さらなる努力をしていく所存です。

本年4月より経営企画の仕事も加わる予定です。耳手術医の25年間の経験から医療収入の中心となる手術や手術環境のことはわかりますが、病院経営や財政的な面はこれから勉強が必要です。先輩諸氏の教えや職員の方の声に謙虚に耳を傾け全力を尽くす所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

地域連携・情報システム担当



集中治療医学
西 信一

平成26年4月から地域連携・情報システム担当の副院長を拝命いたしましたICUの西信一です。これまで2年間は太城病院長のもと情報システム・急性医療総合センター運用担当の副院長を務めて参りました。昨年3月にオープンいたしました急性医療総合センターは関係各位のお力添えもあり無事に発進することができました。まずはお礼を申し上げます。内部的にはまだ調整しなければいけない部分も多々ありますが、今後は「容れ物」以上に内容をよりよいものにする必要があります。このためには学内にとどまらず学外、地域医療圏への働きかけが必要不可欠なものになります。こういった意味で今回の担当の変更がされたものと理解しています。

この目標を達成すべく難波院長のもと精進する所存であります。皆様方のご支援を頂戴できますことをお願い申し上げます。

療養環境・入退院管理・患者サービス担当



看護部
山田 明美

難波光義病院院長就任に伴い、引き続き副院長を拝命いたしました看護部長の山田です。社会情勢に対応した、今年度の診療報酬改定の重点課題の一つに「医療機関の機能分化・強化と連携」があります。この度、副院長として、新たに入退院管理担当が加わりましたので、特定機能病院としての役割の果たせる入退院管理を強化したいと考えます。そのためには、地域住民の皆様、医療関係者の皆様のご協力、ご理解が必要と考えます。

また、看護部長の立場から、看護師は距離・時間ともに患者さんと一番近い立場にあり、入院・外来を問わず、患者さんの療養環境を整える重要な役割があります。同時に、チーム医療において各専門職と横断的に関わり、連絡調整役を果たしております。その意味からも、当院の医療従事者や事務職員が一丸となって快適な療養環境提供に努めることができるように、その職責を果たす所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

■ 病院部門の再編および名称変更について

平成26年4月1日付けで、病院を構成する部門として「中央施設」を廃止して「中央部門」に統合し、「診療部」、「中央診療施設」、「中央部門」、「卒後臨床研修センター」および「病院事務局」をもって病院を構成することになりました。

また、診療科の名称および所属の変更は下記の通りです。

診療部		
冠疾患科	→	冠疾患内科
リウマチ・膠原病科	→	リウマチ・膠原病内科
肝・胆・膵科	→	肝・胆・膵内科
糖尿病科	→	糖尿病・内分泌・代謝内科
内分泌・代謝科	→	
上部消化管科	→	消化管内科
下部消化管科	→	
呼吸器・RCU科	→	呼吸器内科
神経・脳卒中科	→	神経内科
腎・透析科	→	腎・透析内科
総合診療科	→	総合内科
耳鼻咽喉科	→	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
麻酔科	→	麻酔科・疼痛制御科
—	新設	炎症性腸疾患内科
—	新設	炎症性腸疾患外科
—	新設	救急科

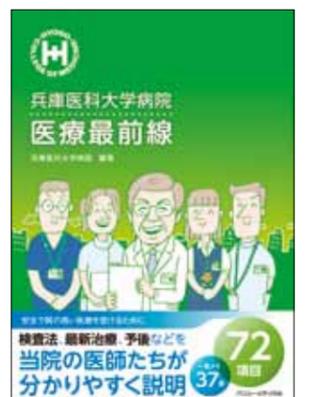
中央診療施設		
臨床心理部	→	中央部門へ
医療社会福祉部	→	中央部門へ
臨床栄養部	→	中央部門へ
分娩新生児部	廃止	—
CCU	廃止	—
—	新設	周産期センター
—	新設	総合診療センター
—	新設	脳卒中センター
中央施設		
臨床工学室	→	中央部門へ
診療情報管理室	→	中央部門へ
入退院管理室	→	中央部門へ

■ 「兵庫医科大学病院 医療最前線」を出版しました

大学病院に求められている「安全で質の高い医療」をわかりやすく説明し、患者さん自身に自分の病気を少しでも理解して頂く助けとなることを目的とした「兵庫医科大学病院 医療最前線」を出版しました。

この本は、比較的多くの患者さんが患っている病気について、患者さん自身も自分の病気に対する知識を持って、チームの一員になって治療を受けて頂けるよう、検査方法、治療法、予後などをできるだけわかりやすく解説しています。

「兵庫医科大学病院 医療最前線」は、院内売店（1号館3階ファミリーマート、10号館3階ラ・メール）で販売しているほか、一般書店でもお買い求めいただけますので、ぜひご活用ください。



価格：2,100円（税別）

■ 小児患者さん対象に絵本パフォーマンスが開催されました

平成26年2月3日、小児科病棟のプレイルームにて小児患者さんを対象とした絵本パフォーマンスが開催されました。この催しは、NPO法人兵庫県子ども文化振興協会が主催となって開催されたもので、絵本パフォーマンスの「きしだてんだい」さんにお越しいただきました。

きしださんは、オリジナルの音楽をBGMに、まるで劇のセリフのように絵本を読みすすめていました。子供たちもその独特の世界にあつという間に引き込まれ、時には歓声を上げながらお話に聞き入っていました。



■ クリスマス音楽会を開催しました

平成25年12月21日、1号館1階ロビーにてクリスマス音楽会を開催しました。患者サービス向上委員会が主催となり、患者の皆さんに楽しいひと時を過ごしていただくことを目的とし、昨年に引き続きの開催となりました。

音楽会では、「AMADEUS」の皆さんによるバイオリン・エレクトーンの演奏、そして美しい歌声がロビーに響き渡り、クリスマスにちなんだ曲では観客の皆さんも一緒に合唱するなど、参加した皆さんに楽しいひと時を過ごしていただきました。

また、兵庫医科大学病院の耳鼻咽喉科の医師3名で結成されたドクターバンド「OTO-RHINO-LARYNGO」も白衣姿で登場し、ギターやエレクトーンの弾き語りで会場を魅了しました。バンド名は、英語の耳鼻咽喉科学[otorhinolaryngology]をもとにつけられたそうで、この音楽会のために練習を重ねてきたというお話の通り、見事な演奏が披露されました。



■ ドクターカーが納車されました

平成26年3月31日、新しいドクターカーが納車されました。これまで使用していたドクターカーは約20年使用しており老朽化していたため、新たに購入したものです。役員および救命救急センターの小谷センター長などが一堂に会し、新しいドクターカーがお披露目されました。



■ 第6回 学校法人兵庫医科大学連携病院の会開催



平成26年3月10日、ノホテル甲子園において第6回学校法人兵庫医科大学連携病院の会が開催されました。

この連携病院の会は平成26年3月10日現在で123病院にご入会いただいております。当日は会員病院の病院長をはじめ、医師・看護師・事務の方々51名と学内者68名の合計119名の方々にご出席いただきました。

今回のテーマは「診療報酬改定を考える」とし、田辺三菱製薬(株)谷澤正明氏より「平成26年度診療報酬改定のポイント～急性期医療・地域医療連携はいかに評価されるか～」、東邦大学特任教授であり、中医協DPC評価分科

会会長である小山信彌氏より「26年度診療報酬改定から見たDPCの目指すもの」という演題で講演いただきました。

谷澤氏からは、「平成26年度診療報酬改定最大のテーマは入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化であり、今回の改定は単なる通過点に過ぎず、改革のターゲットイヤーであり、団塊の世代が全員後期高齢者となる2025年(平成37年)を見据えた病院運営が重要である」とのご説明をいただきました。また、小山氏からは、中医協DPC分科会長としての立場から、「今後の外来、7:1看護、DPCの方向性について説明の後、最近の診療報酬改定はエビデンスに基づいて行われており、今後、制度が大きく変わろうとしているなか、各病院にとって重要なことは最善の医療を提供し続けることであり、診療報酬改定はそれを評価している」と説明がありました。

講演の後、引き続き開催された意見交換会にも多数の参加があり、各病院間での活発な意見交換が行われ、相互の連携を深めることができました。



田辺三菱製薬(株) 谷澤正明氏



東邦大学特任教授 中医協DPC評価分科会会長 小山信彌氏

■ 平成25年度 第2回防災訓練

平成25年12月20日、平成25年度防災訓練が急性医療総合センターと10号館1階で行われ、教職員(医師、看護師、メディカルスタッフ、事務職員)、医学部学生(4年生)、外部評価者の224名が参加しました。

この防災訓練は平成14年から毎年実施しているもので、近隣で災害が発生して多数の傷病者が本学病院に搬送された場合を想定し、患者さんを円滑に受け入れ、トリアージ・診療を行うことを目的としています。医学部学生は授業(診察法実習)の一環として傷病者役や家族役等で参加しました。模擬傷病者にはムラージュ(ケガの状態をリアルに特殊メイクすること)を施すなど実際の災害さながらのリアルな状況の中、参加者たちは真剣に取り組んでいました。

いつどのような状況で発生するか分からない災害に対して、傷病者の円滑な受け入れ体制の確立は災害拠点病院としての使命です。今回の訓練で得た課題を検証し、更に備えを充実させるべく教職員一同取り組んでいきます。



■ 兵庫医大フロンティア医療セミナー

第17回(平成26年1月9日開催)
当科で行っている
最新の妊娠管理への取り組み

コーディネータ
産科婦人科 准教授 澤井 英明

出生前診断の概要
講師:産科婦人科 准教授 澤井 英明
胎児画像診断(～特にCT・MRI～)
講師:産科婦人科 准教授 澤井 英明

精神疾患合併妊娠の管理と連携
講師:産科婦人科 学内講師 武信 尚史
IBD合併妊娠の管理
講師:産科婦人科 講師 田中 宏幸

第18回(平成26年2月13日開催)
心臓血管外科領域における
低侵襲手術

コーディネータ
心臓血管外科 准教授 光野 正孝
はじめに(心臓血管外科の手術について)

講師:心臓血管外科 准教授 光野 正孝
低侵襲心臓手術(MICS)
講師:心臓血管外科 助教 良本 政章
大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術
講師:心臓血管外科 助教 田中 宏衛
大動脈弁狭窄症に対する
経皮的な大動脈弁置換術(TAVR)
講師:心臓血管外科 助教 福井 伸哉

第19回(平成26年3月13日開催)
救急集中治療の現状とトピックス

コーディネータ
救命救急センター 助教 宮脇 淳志

敗血症治療の現状とトピックス
講師:救命救急センター センター長 小谷 穂治
重症患者の栄養管理
講師:救命救急センター センター長 小谷 穂治

ダメージコントロールサージェリー
講師:救命救急センター 助教 山田 太平
多数傷病者の対応
講師:救命救急センター 講師 久保山 一敏

救急整形外傷ETCとDCO
講師:救命救急センター 助教 宮脇 淳志

第20回(平成26年4月10日開催)
眼科最新治療
～角膜パーツ移植から分子標的薬治療まで～

コーディネータ
眼科 診療部長 三村 治

麻痺性斜視への取り組み
講師:眼科 助教 増田 明子
角膜内皮移植
講師:眼科 学内講師 細谷 友雅
眼瞼痙攣・片側顔面痙攣に対するボツリヌス治療
講師:眼科 助教 中村 由美子
あたらしい緑内障インプラント手術
講師:眼科 助教 田片 将士
加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法
講師:眼科 助教 石川 裕人

■ 病院機能評価 認定証の授与

ささやま医療センターは、平成25年9月10日～11日に公益財団法人日本医療機能評価機構(以下「機構」)の病院機能評価(3rdG: Ver 1.0 一般病院1)を受審し、同年12月6日付で、機構から病院機能評価認定の朗報が届いたことは、広報224号(前号)で速報としてお知らせしたところです。

12月19日に、機構から当医療センターに認定証が届き、改めて認定を受けた実感がわいてきた次第です。早速、院内全職員に周知するとともに、福田病院長(当医療センター病院長)が法人本部に認定証を持参し、新家理事長に認定証授与の報告を行いました。

病院機能評価認定を機に、さらなる医療の質向上に努めていきたいと思っております。



■ 兵庫医科大学篠山キャンパス看護師宿舎完成

篠山キャンパス看護師・助産師確保対策の一環として、また職員福利厚生面の充実を目的に計画を進めてまいりました看護師宿舎新築工事の建設が、関係各位のご協力により、この程完成の運びとなりました。(平成26年3月21日完成)

看護師宿舎は、鉄筋コンクリート造3階建てで、1階8室(内4室は医師用)、2・3階10室、計28室(1Kタイプ)で、1階には共用多目的室(1室)も設置されています。各戸面積は1階29.37㎡、2・3階25.41㎡で、全室南面にバルコニー、各戸エアコン設備、玄関にオートロックを採用、専用駐輪場を完備、また各部屋からインターネット接続(個人契約)も可能となっています。入居については、平成26年度4月1日に入職される看護師の方より順次開始されます。



■ 平成25年度第2回消防訓練

平成26年3月17日に、深夜帯に3階西病棟のデイルーム奥配膳室からの出火を想定して、通報、初期消火及び避難誘導の習得と防火意識の高揚を図ることを目的に、教職員による消防訓練を実施しました。前回の訓練よりアクションカードを導入した訓練を実施しており、カードに記載された指示に基づき行動することで、役割分担が明確となり、口頭での避難指示に比べて効率的に避難することが出来ました。

また、今回は消火設備の操作方法について、屋内消火栓を使ってホースを延長し、実際に北側駐車場で放水訓練を行いました。放水訓練は消防署の指導のもと、参加者が一人ずつ自身で放水することで、ホースから伝わる水圧等を体感でき、貴重な体験となりました。



■ ささやま老人保健施設 節分豆まき

平成26年2月3日、ささやま老人保健施設にて節分の豆まきが行われました。

今年も鬼に扮した職員が入所フロア、通所フロアを回りました。利用者の皆さんは手作りの豆を元気に投げて今年の健康を願いました。日々のリハビリテーションの成果がでて、大きく手を動かし、鬼にたくさんの豆をぶつけていました。

利用者の皆さんは福を呼びこみ、厄払いできたことでしょう。鬼に扮した職員は、大汗をかいた後に仕事に戻りました。



■ 篠山キャンパス将来構想に係る懇談会

“バランススコアカード(BSC)に基づいた篠山キャンパスの組織活性化”に向けて、職員のモチベーションアップと病院経営への参画意識の醸成を目的に、本院から正木病院顧問にお越しいただき、篠山キャンパス将来構想に係る懇談会(以下「懇談会」)を篠山キャンパスの管理・監督職約70名を対象に行いました。

平成25年8月6日を初回に、平成26年3月12日までの間に6回にわたり懇談会を行い、篠山キャンパスの中期的ビジョン実現に向けた平成26年度事業計画(行動計画)の策定を行いました。

懇談会は、現在の篠山キャンパスの組織の現状を踏まえ、現状とビジョンとのギャップを埋めるため、BSCの4つの視点(①顧客の視点、②業務プロセスの視点、③学習と成長の視点、④財務の視点)から戦略と戦術をグループワークで協議し、協議した内容を各グループからの発表という形式で行われました。

各職種(医師、看護師、医療技術職員、事務職員)が参加した懇談会であり、事業計画(行動計画)の策定だけでなく、各職種のコミュニケーションアップにも貢献した懇談会となりました。

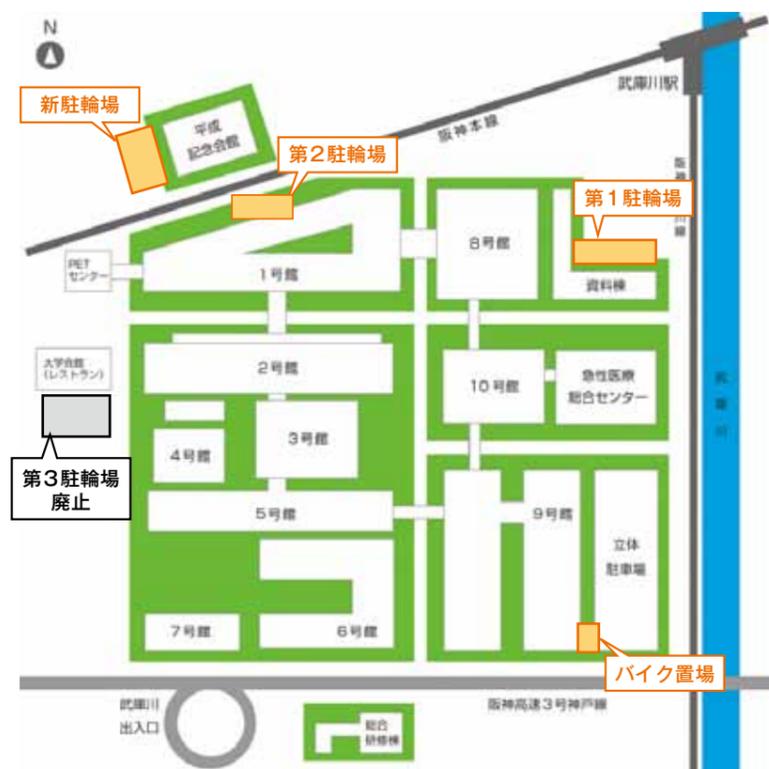


教職員用駐輪場(第3駐輪場)の移設について

兵庫医科大学健康医学クリニックが設置されることに伴い、教職員用駐輪場(第3駐車場)は平成26年3月29日に廃止となり、同日、新駐輪場(平成記念会館西側駐輪場)に移設となりました。

なお、新駐輪場以外の駐輪場として、第1駐輪場(資料棟北側)・第2駐輪場(1号館北側)は従来どおり利用できます。

また、バイクについては、バイク置場が9号館と立体駐車場の間の南側にありますのでご利用ください。

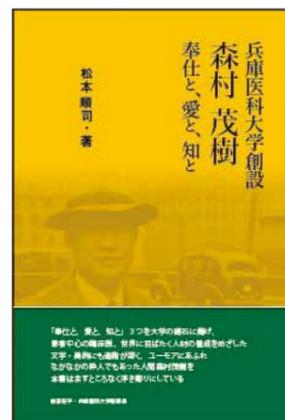


森村茂樹先生の伝記が出版されました

平成26年3月末、兵庫医科大学の創設者である森村茂樹先生の伝記「兵庫医科大学創設 森村 茂樹 奉仕と、愛と、知と」が神戸新聞総合出版センターから出版されました。

筆者は、本学が平成24年に出版した「兵庫医科大学創立40年史」の編纂委員として係わった広報室の松本順司参与で、森村先生のご家族だけでなく、森村先生を知る50人を超す人たちや出身校からの取材を行い、森村家から提供された膨大な資料と格闘、さらに軍隊時代などの資料集めでは個人情報に壁に悪戦苦闘しながら本書をまとめました。掲載した資料、写真の総数は189点、中には歴史的に価値のあるモノもあります。

新家荘平理事長が書籍の帯に次のように書いています。「『奉仕と、愛と、知と』3つを大学の礎石に掲げ、患者中心の臨床医、世界に羽ばたく人材の養成をめざした。文学、美術にも造詣が深く、ユーモアにあふれ、なかなかの粹人でもあった人間森村茂樹を本書は余すところなく浮き彫りにしている。」



定価は2,000円(税別)、購入は書店か、インターネット書店で。一括購入などの問い合わせは神戸新聞総合出版センターへ。兵庫医科大学関係者だとお伝えください。

■神戸新聞総合出版センター
Tel 078-362-7140 Fax 078-361-7552

平成26年度事業計画

第2次中期事業計画(次ページに記載)については平成25年10月に完成いたしました。この中期事業計画を実現するため、平成26年度は以下の通り事業を実行していきます。

1.第2次中期事業計画を実行するための事業計画

人材マネジメント領域	
①法人として求める人材像の明確化とそれに沿った人材育成支援策の策定・実施	法人
②教職員のモチベーション向上に向けた取り組み	法人
③男女共同参画推進のための体制の整備	法人

経営管理・財務領域	
④予算および予算編成の適切な執行および効率的、効果的な資金・資源の活用	法人
⑤物流改革による業務効率化及び経費の削減	法人
⑥新たな資金調達手段の開拓および募金活動の強化	法人

情報共有・広報領域	
⑦広報体制の強化	法人

教育領域	
⑧建学の精神に基づく社会性・倫理観、社会活動への積極性を高める教育の充実	医科大・医療大
⑨医療人育成にかかるキャリア支援の実施	法人
⑩チーム医療推進にかかる基本コンセプトの策定および施策の実施	法人
⑪薬学部における教育力の向上と国家試験対策の強化等、教育支援体制の確立	医療大

研究領域	
⑫法人内における包括的研究活動支援体制の構築	法人

診療領域	
⑬手術件数の増加	医科大病院
⑭がん診療の充実	医科大病院
⑮地域連携・救急受入れ強化による患者の増加	医科大病院
⑯ささやま医療センターにおける西宮本院と一体化した戦略的人材マネジメントの実施	ささやま
⑰バランススコアカード(BSC)に基づいた篠山キャンパスの組織活性化	ささやま

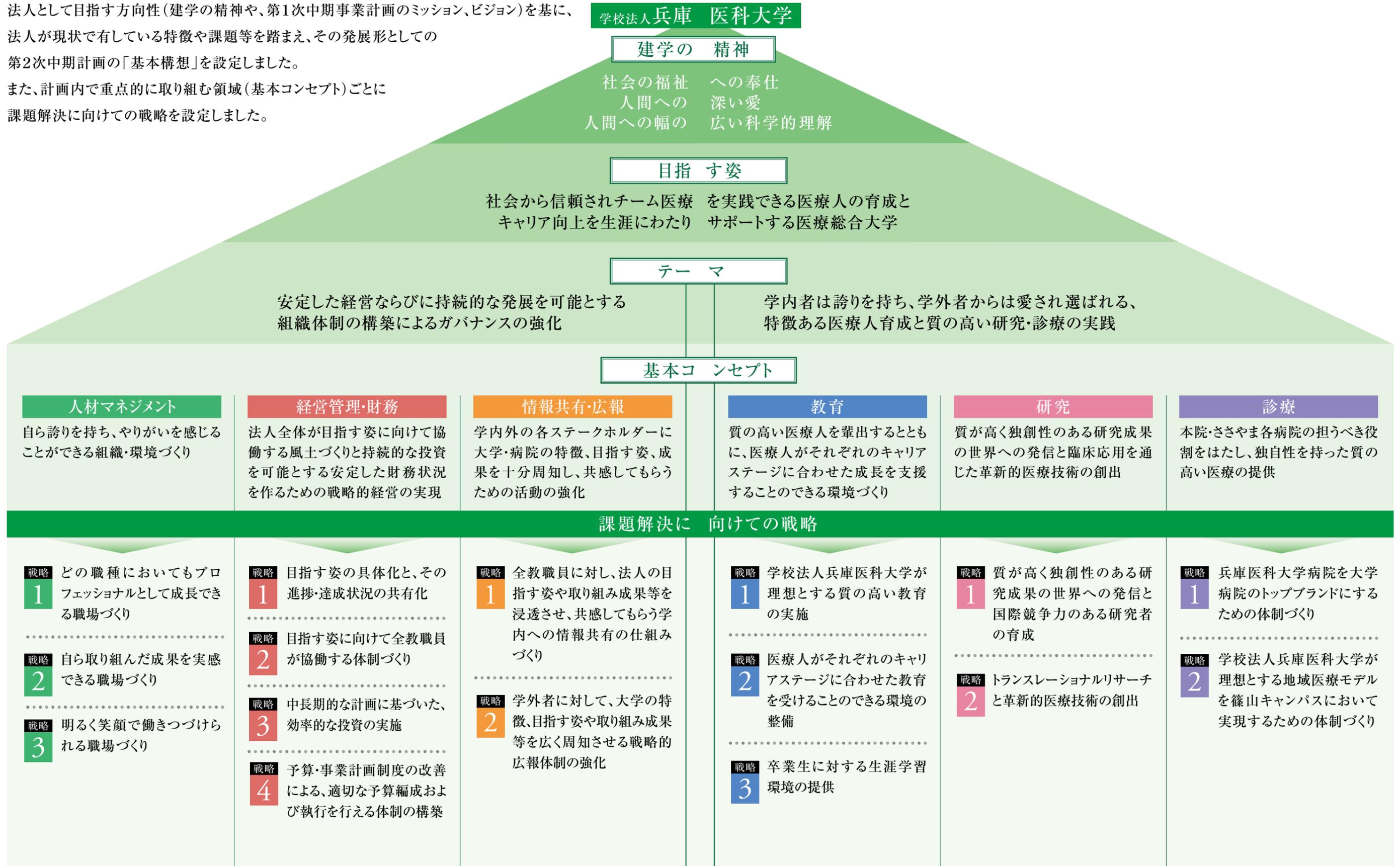
2.その他の将来計画を実行するための事業計画

新健診センター設置事業	
⑱健康医学クリニックの開設	法人

西宮キャンパスグランドデザイン	
⑲新教育研究棟建設計画の推進	医科大
⑳震災後の環境変化に伴う西宮キャンパスグランドデザインの見直し	法人

第2次中期事業 計画(平成25年度～平成29年度)

法人として目指す方向性(建学の精神や、第1次中期事業計画のミッション、ビジョン)を基に、法人が現状で有している特徴や課題等を踏まえ、その発展形としての第2次中期計画の「基本構想」を設定しました。
また、計画内で重点的に取り組む領域(基本コンセプト)ごとに課題解決に向けての戦略を設定しました。



平成26年度 学校法人兵庫医科大学 予算

財務部

平成26年度予算は、平成26年3月27日に開催された理事会において次のとおり決定されましたのでお知らせします。

1. 平成26年度予算編成にあたって

本法人の収支は、平成21年度以降「収入に見合う支出」(財政基盤改善3年計画)を基本的な考え方とする支出抑制策の実行、平成22・24年度の診療報酬改定の追い風による兵庫医科大学病院の収益増加、また、兵庫医療大学の全学部が完成年度を超えたこともあり順調に推移しています。

しかし、西宮キャンパス病院情報システムの構築、急性医療総合センター建設等への大型施設・設備投資による維持保守費・減価償却額やエネルギーコストの増加等の固定経費は確実に増加し、さらに消費税率引き上げによる経費負担増の影響もあり、将来の既存施設・設備等の拡充・更新を展開するために、より一層の財務基盤の健全化が求められています。

このような状況のもと、平成26年度予算は限られた財源の中で教育はもとより研究支援や広報にも力を入れ、また、平成25年度から始動した第2次中期事業計画における各部門の個別事業計画予算を確保しつつ、急性医療総合センター建設に続く新教育研究棟の建設始動、健康医学クリニックの開設等の各種計画を着実に実行できる財務基盤を確立し、学校法人全体の持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保した予算編成を行いました。

2. 平成26年度消費収支予算の概要

帰属収入予算合計は49,659百万円で前年度予算比+615百万円、消費支出予算合計は48,647百万円で前年度予算比+1,092百万円を予算計上しています。その結果、平成26年度帰属収支差額予算は、1,011百万円を確保する予算としています。

収入について

- ・学生納付金： 兵庫医科大学と、兵庫医療大学の2大学4学部4大学院研究科合計で7,665百万円(前年度予算比+82百万円)を予算計上しています。
- ・寄付金： 兵庫医科大学開学40周年記念事業支援のための募金(3年目)、寄附講座、研究助成寄付金等により、合計999百万円を予算計上しています。
- ・補助金： 私立大学等経常費補助金及び私立大学等研究設備整備費等補助金の採択を視野に入れて合計2,826百万円を予算計上しています。
- ・事業収入： 兵庫医科大学病院では、診療報酬改定の影響に加え、EICUの増床、SCUの設置、査定額の見直し、入院単価のアップ等により32,691百万円の医療収入を見込んでいます(前年度予算比+797百万円)。また、ささやま医療センターでは、2,514百万円(前年度予算比▲350百万円)、ささやま老人保健施設では、介護報酬改定の影響も加えて631百万円(前年度予算費+32百万円)をそれぞれ医療収入として見込んでいます。その結果、法人全体では医療収入35,837百万円(前年度予算比+479百万円)、受託事業等の事業収入1,333百万円(前年度予算比+70百万円)を予算計上しています。

支出について

- ・人件費： 急性医療総合センター稼働に伴う看護師等コメディカルの計画的な人員増、健康医学クリニック開設に向けた人員増等により、合計22,335百万円(前年度予算比+989百万円)を予算計上しています。
- ・教育研究経費： 兵庫医科大学では、兵庫医科大学特別研究促進事業「大型プロジェクト構築支援」を研究支援事業として新規に加え、戦略的研究基盤形成支援事業の新規3件追加等により、2,262百万円(前年度予算比+101百万円)を予算計上しています。兵庫医療大学では、2ndステージに入り、良質な学生の確保と育成のため奨学費等を増額し、1,221百万円(前年度予算比+22百万円)を予算計上しています。
- ・医療経費： 物流センターを中心に経費抑制策を引き続き実行していますが、兵庫医科大学病院では急性医療総合センターの開設、情報システムの導入に伴う保守・管理費の増加により、15,110百万円(前年度予算比+152百万円)を予算計上しています。また、ささやま医療センターでは院外処方への完全移行により薬品費が減少し、807百万円(前年度予算比▲293百万円)を予算計上しています。さらに、新規事業の健康医学クリニック開設に係る経費も加え、法人全体の医療経費としては16,155百万円(前年度予算比▲61百万円)を予算計上しています。
- ・管理経費： 法人・大学・病院部門の運営にかかる経常的な管理経費に加え、兵庫医科大学・兵庫医療大学とも今後ますます過当競争に向かう状況において更なる飛躍のために、学部入試経費(募集)、広報経費等を増額し、合計1,645百万円(前年度予算比+25百万円)を予算計上しています。
- ・資産処分差額： 西宮キャンパス6号館取り壊し、ナースコール装置更新の繰り越し等に伴い資産処分差額合計325百万円(前年度予算比▲81百万円)を予算計上しています。

3. 平成26年度施設・設備関係支出

施設関係支出 (単位:百万円)		設備関係支出 (単位:百万円)	
新教育研究棟設計監理費他手続き費用	55	兵庫医科大学の私大研究設備等大型機器	218
急性医療総合センター関連移転跡等工事	1,345	兵庫医科大学の教育研究設備等	178
西宮キャンパス配管等施設更新工事	573	急性医療総合センター関連機器	100
西宮キャンパスネットワーク等施設更新工事	24	兵庫医科大学病院の一般設備等備品	591
1・8・9号館高架水槽更新工事	139	兵庫医科大学病院情報関連設備	60
兵庫医科大学病院ナースコール他改修工事	335	法人部門情報機器・事務系システム等の更新	33
ささやま医療センターLAN環境構築他工事	24	ささやま医療センターの医療設備	30
ささやま老人保健施設各階トイレ更新他工事	15	ささやま老人保健施設定期薬管理用ワゴン他	3
兵庫医療大学多目的ホールエアコン設置他工事	5	兵庫医科大学の教育研究設備等	20
健康医学クリニック関連工事	563	健康医学クリニック関連設備	80
合計	3,083	合計	1,316

注 百万円未満については切捨て表示のため合計表示とは必ずしも一致しません

消費収支・資金収支共通科目に加え、上記施設・設備関係支出の合計4,399百万円、借入金等返済支出2,200百万円、資産運用支出1,000百万円及びその他の支出(奨学貸付金他)388百万円を合わせた資金支出の合計は52,259百万円となります。

この結果、平成26年度の資金収支差額は1,108万円の支出超過予算となっています。

平成26年度収支予算

消費収支予算 (単位:百万円)					資金収支予算 (単位:百万円)				
収入の部					収入の部				
	科目	平成26年度	平成25年度	増減額		科目	平成26年度	平成25年度	増減額
消費収入	学生納付金	7,665	7,582	83	資金収入	学生納付金収入	7,665	7,582	83
	手数料	277	261	16		手数料収入	277	261	16
	寄付金	999	1,070	▲71		寄付金収入	952	1,022	▲70
	補助金	2,826	2,781	45		補助金収入	2,826	2,781	45
	資産運用収入	171	74	97		資産運用収入	171	74	97
	事業収入	37,171	36,620	551		資産売却収入	1,300	0	1,300
	雑収入	549	652	▲103		事業収入	37,171	36,620	551
						雑収入	549	652	▲103
	帰属収入 合計	49,659	49,044	615		借入金等収入	149	104	45
	基本金組入額	▲3,433	▲4,161	728		その他の収入	89	44	45
消費収入の部 合計	46,226	44,882	1,344	収入の部 合計	51,151	49,145	2,006		
支出の部					支出の部				
	科目	平成26年度	平成25年度	増減額		科目	平成26年度	平成25年度	増減額
消費支出	人件費	22,335	21,346	989	資金支出	人件費支出	22,356	21,397	959
	教育研究経費	3,635	3,491	144		教育研究経費支出	3,635	3,491	144
	医療経費	16,155	16,216	▲61		医療経費支出	16,155	16,216	▲61
	管理経費	1,645	1,619	26		管理経費支出	1,645	1,619	26
	減価償却額	4,042	3,922	120		借入金等利息支出	78	121	▲43
	借入金等利息	78	121	▲43		借入金等返済支出	2,200	2,080	120
	資産処分差額	325	406	▲81		施設関係支出	3,083	3,566	▲483
	徴収不能額	13	13	0		設備関係支出	1,316	1,627	▲311
	徴収不能引当金繰入額	15	15	0		資産運用支出	1,000	0	1,000
	予備費	400	400	0		その他の支出	388	357	31
消費支出の部 合計	48,647	47,555	1,092	予備費	400	400	0		
帰属収支差額	1,011	1,488	▲477	支出の部 合計	52,259	50,879	1,380		
当年度消費収入超過額	▲2,421	▲2,672	251	資金収支の差額	▲1,108	▲1,733	625		

注 百万円未満については切捨て表示のため合計表示とは必ずしも一致しません

学校法人兵庫医科大学基金兵医・萌えの会 状況報告

本学校法人は、平成21年4月1日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学基金兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしく願いたします。

募金推進課 H21.1.1～H26.2.28

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	243件	44,505,000円	661件	46,315,498円	904件	90,820,498円
入金	243件	44,505,000円	654件	45,605,498円	897件	90,110,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H25.12.1～H26.2.28

企業等法人 (9社) ●企業名・金額記載 1社 500,000円 株式会社オーエンス様 ●ご芳名のみ記載 6社 くるみ薬局武庫川店様 武庫川医療サービス株式会社様 株式会社共英メソナ様 八洲薬品株式会社様 小山株式会社様 和研薬株式会社様 (匿名 2社)
退職者 (1名) 50,000円 森村 安史様
教職員 (6名) ●ご芳名・金額記載 2名 ●ご芳名のみ記載 3名 10,000円 長谷川 誠実様 難波 光義様 50,000円 森田 峰広様 太田 邦廣様 今中 利昭様 (匿名 1名)
緑樹会 (1名) (匿名 1名)

その他個人 (63名) ●ご芳名・金額記載 14名 10,000円 山地 宣子様 50,000円 久我 一郎様 50,000円 土井畑 雅代様 50,000円 酒井 京子様 50,000円 山口 宜子様 50,000円 岸上 涼子様 100,000円 中井 久夫様 50,000円 野村 花子様 50,000円 森田 満男様 5,000円 安村 勝枝様 50,000円 藤原 實様 500,000円 岸本 みどり様 10,000円 中嶋 二三代様 10,000円 岸本 清則様 ●ご芳名のみ記載 22名 福井 明子様 今中 久美子様 牛島 利江様 山本 悦也様 土井 進様 山本 洋子様 永野 克幸様 熊谷 裕美様 財津 佳世子様 山本 純子様 小西 節子様 木村 千代子様 赤木 由子様 高尾 素子様 山西 磨智子様 高尾 和良様 田中 米治様 松本 ふくゑ様 阪口 春男様 大黒 貴様 倉橋 裕様 大黒 幸子様 (匿名 27名)
--

理事・評議員の異動

平成26年4月1日付で理事・評議員の異動がありました。

理事		
新任	協和会グループ 会長	木曾 賢造
就任	兵庫医科大学病院 前病院長	太城 力良
再任	兵庫医科大学教授・副学長	三村 治
	常勤理事	森田 泰夫
辞任	東京医科歯科大学名誉教授	西岡 清
病院長退任に伴い 辞任(3月31日付)	兵庫医科大学病院 前病院長	太城 力良

監事		
新任	東京医科歯科大学名誉教授	西岡 清
再任	常勤監事	飯田 俊一
	公認会計士	岡本 茂登
退任(3月31日付)	弁護士	今中 利昭

評議員		
新任	兵庫医科大学教授・図書館長	廣田 省三
	兵庫医科大学教授	若林 一郎
	兵庫医科大学准教授	石藏 礼一
	兵庫県看護協会 会長	中野 則子
就任	兵庫医科大学病院 前病院長	太城 力良
再任	兵庫医科大学教授・ 兵庫医科大学病院 前病院長	難波 光義
	常勤理事	森田 泰夫
辞任(3月31日付)	兵庫県看護協会 前会長	大森 綾子
病院長退任に伴い 辞任(3月31日付)	兵庫医科大学病院 病院長	太城 力良
定年退職に伴う 辞任(3月31日付)	兵庫医科大学教授・前図書館長	谷澤 隆邦

兵庫医科大学開学40周年記念事業募金

「兵庫医科大学開学40周年記念事業」のための募金活動を平成24年7月に開始し、教職員をはじめ、後援会(保護者)等は言うに及ばず幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

本法人といたしましては、ご協力賜りました方々のご芳名を大学広報に掲載させていただき、改めて感謝の意を表したいと存じます。

皆様からご寄付いただきました寄付金については、兵庫医科大学の教育研究施設等充実のために利用させていただきます。

本学は、これからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けての自主的努力を重ねてまいります。関係の皆様におかれても更なるご支援、お力添えを賜りますよう、よろしく願いたします。

募金推進課 H24.7.1～H26.2.28

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	172件	818,135,000円	423件	281,380,068円	595件	1,099,515,068円
入金	171件	761,395,000円	420件	183,796,557円	591件	945,191,557円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H25.11.1～H26.2.28

企業等法人 (5社) ●ご芳名のみ記載 4社 日本製薬株式会社様 株式会社三和化学研究所様 大栄環境株式会社様 富士通株式会社様 (匿名 1社)
その他個人 (3名) ●ご芳名のみ記載 1名 東郷 永好様 (匿名 2名)
同窓会緑樹会 (3名) ●ご芳名・金額記載 1名 500,000円 松本 英樹様 ●ご芳名のみ記載 1名 保科 幸次様 (匿名 1名)
退職者 (1名) 山元 哲雄様

教職員 (47名) ●ご芳名・金額記載 5名 500,000円 廣瀬 宗孝様 500,000円 吉村 紳一様 150,000円 正木 充様 500,000円 湖海 正尋様 500,000円 森山 雅弘様 ●ご芳名のみ 29名 美内 雅之様 佐野 恭子様 本田 公亮様 平山 伸一様 垣淵 正男様 福島 雅弘様 鳥井 郁子様 桂木 聡子様 中 聡夫様 福田 慎夫様 鳥居 良貴様 鈴木 恵子様 西倉 泰子様 小田 雅彦様 吉田 実穂様 富澤 宏氏様 久保 博嗣様 北川 友紀子様 池幡 健一郎様 菅瀬 いずみ様 下村 壯治様 今村 史明様 土田 敏恵様 東 純一様 芝崎 誠司様 坂本 浩様 團 佑介様 坂本 利恵様 安藤 淳光様 (匿名 13名)
--

人事考課最優秀職員の表彰式が行われました

平成24年度人事考課における考課結果をもとに、最優秀職員・優秀職員を選出し、最優秀職員に対しては、平成25年12月16日、理事長室にて表彰式が行われました。最優秀職員は以下の方々です。



区分	定数	所属部署 (平成24年度考課時点)	所属部署 (平成25年11月1日時点)	氏名
看護部職員(西宮)	看護部門 8名以内	看護部(13階東)	看護部(HCU)	高橋 仁美
コメディカル職員(西宮)	コメディカル部門 3名以内	感染制御部	感染制御部	一木 薫
		放射線技術部	放射線技術部	田ノ岡 征雄
事務職員等(全キャンパス)	事務部門 3名以内	薬剤部	薬剤部	柳井 美奈
		病院事務部医事課	病院事務部医事課	津田 志門
ささやま医療センター (看護部職員・コメディカル職員)	ささやま医療センター部門 2名以内	ささやま医療センター医療技術部門 栄養室	臨床栄養部	荒木 一恵
		ささやま医療センター医療技術部門 検査室	ささやま医療センター医療技術部門 検査室	中田 直行

■ 新技術説明会に参加

平成26年1月14日に科学技術振興機構別館で、本学が加入する「近畿・中部地区 医系大学知的財産管理ネットワーク」主催の「新技術説明会」が開催されました。

この説明会は、ライセンス・共同研究が可能な技術を発明者自らが発表する会で、本学からは皮膚科学山西主任教授が「創薬に役立つ新規アトピー性皮膚炎病態モデル」、兵庫医療大学薬学部の馬淵研究員が「生理活性物質ターゲット探索に特化した新規アフィニティ樹脂用固相担体の開発」を発表し、発表後にはそれぞれ研究成果に関心を示す企業と面談を行いました。



新技術説明会にて挨拶する中西学長

■ 第1回 認定看護師教育課程修了式が挙行されました

平成26年3月28日、3-3講義室において平成25年度学校法人兵庫医科大学医療人育成センター認定看護師教育課程(手術看護分野)修了式が執り行われ、全国から集まった研修生30名全員無事に修了しました。

式では、鈴木医療人育成センター長より第1期生となる30名一人ひとりに修了証書が授与されました。

また、鈴木医療人育成センター長による式辞では、今後それぞれの病院に戻って活躍をする研修生の皆さんに激励の言葉が贈られ、次いで、学校法人兵庫医科大学新理事長祝辞、兵庫県看護協会中野会長祝辞、日本手術看護学会菊地理事長祝辞、祝電の披露が行われました。その後研修生代表からの謝辞では、教職員や修業期間を共にした仲間へ感謝の言葉が述べられました。



■ 規程等の制定・改正・廃止 (規程等の全文は学内ネットに掲載)

No.	項目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	学校法人兵庫医科大学共同研究規程	共同研究計画書に各種委員会への申請の有無の記載項目を加える様式変更のため、改正。	平成25年11月1日
2	学校法人兵庫医科大学兼業規程	新たな後期臨床研修制度の実施に伴い、レジデント及び病院助手の兼業許可の範囲を他の職員と同一にするため、改正。	平成26年4月1日
3	学校法人兵庫医科大学レジデント就業規則	新たな後期臨床研修制度の実施に伴い、3年間のレジデント制を導入、また処遇について、2年目、3年目の昇給及び新たに通勤手当を付加するため、改正。	平成26年4月1日
4	学校法人兵庫医科大学大学連携協議会規程	協議事項に①学校法人兵庫医科大学医療人育成センター長及び副センター長候補者の推薦に関する②医療人育成センター規程の改廃に関する③ことを追記するため、改正。	平成26年1月21日

No.	項目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
5	学校法人兵庫医科大学医療人育成センター規程	学校法人兵庫医科大学医療人育成センターに認定看護師教育課程が設置されたことにより、当該規程を本センター業務に追加するため、改正。	平成25年7月31日
6	学校法人兵庫医科大学事務局職員自己申告制度に関する内規	事務職員個々のキャリア開発を充実させ、特に事務局の中核を担う監督職や課長職を中心として能力開発等を推進するため、改正。	平成26年2月4日
7	兵庫医科大学特別研究促進事業「大型プロジェクト構築支援」取扱要領	大学全体の研究促進を支援することを目的とした特別研究促進事業「大型プロジェクト構築支援」の取扱いを定めるため、制定。	平成25年10月1日
8	兵庫医科大学学則	「研究医養成のための入学定員増」計画に係る認可申請手続きの一環として、収容定員を変更するため、改正。また、「炎症性腸疾患学」及び特定講座「地域包括ケア学」の設置、並びに「心臓血管外科学」と「呼吸器外科学」の「外科学」への統合のため、改正。	平成25年12月1日
9	臨床准教授及び臨床講師にかかる取扱内規	本取扱内規の改廃及び担当部署を明記するため、改正。	平成26年2月1日
10	図書管理規程	教室分置図書の取扱いを変更し、「図書管理規程の運用について」の内容を統合するため、改正。	平成26年4月1日
11	図書閲覧規程	現状の取扱いに合わせるため、改正。	平成26年4月1日
12	図書管理規程の運用について	図書管理規程に統合するため、廃止。	平成26年4月1日
13	レジデント取扱内規	専門医制度の改革にあたり、後期臨床研修の重要性を踏まえ3年間のレジデント制に変更するため、改正。	平成26年4月1日
14	診療録管理規程	電子カルテの導入に伴い、紙の診療記録に特化し、実態に即した規程にするため、改正。	平成25年11月6日
15	周産期センター運営規程	周産期センター設置に伴い、制定。	平成26年4月1日
16	院内保険診療委員会規程	院内保険診療審議会を廃止し、院内保険診療委員会として保険診療に関する事項について審議するため、制定。	平成26年4月1日
17	院内保険診療審議会規程	院内保険診療委員会規程制定に伴い、廃止。	平成26年4月1日
18	DPC専門部会内規	院内保険診療委員会の下部会議としてDPC専門部会を開催するため、制定。	平成26年4月1日
19	院内保険診療審議会専門部会内規	DPC専門部会内規制定に伴い、廃止。	平成26年4月1日
20	医療安全管理委員会規程	コアメンバー会議開催趣旨等を明文化するため、改正。	平成26年1月21日
21	医療事故審査委員会規程	医療安全管理委員会規程改正に伴い、廃止。	平成26年1月21日
22	救急呼出手当に関する支給基準	救急呼出手当に関する支給基準を定めるため、制定。	平成26年1月1日
23	兵庫医科大学ささやま医療センター宿日直時救急対応手当に関する内規	救急呼出手当に関する支給基準制定に伴い、改正。	平成26年1月1日
24	兵庫医科大学ささやま医療センター院内保険診療委員会規程	保険診療の適正化や審査査定の分析等を十分に協議、検討するため、これまで検討を行ってきた兵庫医科大学ささやま医療センター院内保険診療検討会を委員会に格上げし、院内保険診療委員会として設置するため、制定。	平成25年10月1日
25	兵庫医科大学ささやま医療センター院内保険診療検討会運営内規	兵庫医科大学ささやま医療センター院内保険診療委員会規程制定に伴い、廃止。	平成25年10月1日
26	兵庫医科大学ささやま医療センター感染対策委員会規程	厚生労働省への入院基本料届け出要件について、感染対策管理体制を一部修正するため、改正。	平成26年1月27日
27	兵庫医療大学教育支援室規程	「教育支援室」の機能と体制強化のため、同室に①履修支援部門、②国家試験対策支援部門、③チーム医療教育支援部門の3部門を置き、各々、部門長及び関係教員を配置し、より実践力のある組織を編成するため、改正。	平成25年10月21日
28	兵庫医療大学教育支援室部門内規	上記各部門の運営等を定めるため、制定。	平成25年10月21日
29	兵庫医療大学研究支援者取扱規程	上位規則である兵庫医療大学非常勤就業規則との整合性を図るため、改正。	平成25年11月18日
30	兵庫医療大学教育委員会規程	教育委員会委員の定員を若干名増員するため、改正。	平成26年4月1日

■学校法人兵庫医科大学 ■兵庫医科大学 ■兵庫医科大学病院 ■兵庫医科大学ささやま医療センター ■兵庫医療大学

報道機関への出演・掲載

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています！ [兵庫医大 広報 テレビ放送](#) [検索](#) [兵庫医大 広報 新聞掲載](#) [検索](#)

テレビ・ラジオ放送情報一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/tvinfo.html>
 新聞等掲載記事一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/newspaper.html>

テレビ・ラジオ出演情報 12月から3月

放送局	番組	放映日	関係者	概要
毎日放送	「知っとこ!」	12月7日	小児科 服部 益治 教授	インフルエンザについて、予防接種の効能や検査方法などについて解説する様子が放送されました。
毎日放送	「100秒博士アカデミー」	12月10日	上部消化管外科 笹子 三津留 主任教授	笹子主任教授が執刀した胃がん手術の様子が放送されました。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	12月20日	小児科 服部 益治 教授	生放送のスタジオにて今年のインフルエンザの傾向と対策について解説した様子が放送されました。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	1月9日	小児科 服部 益治 教授	「インフルエンザ流行期を前に気をつけたいこと」について解説した内容がフリップにまとめられ放送されました。
関西テレビ	「スーパーニュース アンカー」	1月20日	感染制御部 中嶋 一彦 講師	ノロウイルスの感染と予防などについて、解説する様子が放送されました。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	1月20日	小児科 服部 益治 教授	ノロウイルスの主な予防方法や、かかった際の対応などについて説明した内容が放送されました。
NHK	「今日の健康」	1月22日	耳鼻咽喉科 阪上 雅史 主任教授	「味がわからない 味覚障害」と題した特集にて、味が分らなくなる原因、具体的な症状、検査や治療方法などについて、解説する様子が放送されました。
朝日放送	「キャスト」	1月23日	小児科 服部 益治 教授	「インフルエンザを防ごう!!」と題した特集にて、インフルエンザの予防法や予防接種の効果、今年流行のインフルエンザなどについてスタジオで解説した様子が放送されました。
関西テレビ	「とくダネ!」	1月30日	産科婦人科 澤井 英明 准教授	母体血を用いた新型出生前診断に関する特集にて、カウンセリングを行う様子や、新型出生前診断を受けることに対してコメントした内容などが放送されました。
テレビ東京	「ワールドビジネスサテライト」	1月31日	脳神経外科 吉村 紳一 主任教授 リハビリテーション科 道免 和久 主任教授	脳卒中に関する特集にて、吉村 紳一主任教授が血管内の血栓を吸い出して行う「脳血栓回収療法」を受けた患者さんを診察する様子や、道免 和久主任教授が頭に電極を取り付け微弱電流を流して行う「ハイブリッドCI療法」について解説する様子などが放送されました。
毎日放送	「VOICE」	2月24日	臨床遺伝部 玉置 知子 主任教授	「遺伝子検査」に関する特集にて、検査の役割などについて解説した様子が放送されました。
BSフジ	「ワッチミー!TV×TV」	2月24日	小児科 服部 益治 教授	「夜尿症」に関する特集にて、夜尿症の原因、具体的な治療法、夜尿症による子供への影響などについて解説した様子が放送されました。
テレビ朝日	「報道ステーション」	2月26日	公衆衛生学 島 正之 主任教授	「PM2.5」に関する特集にて、ぜんそくをもつ患者さんのPM2.5に対する注意事項などについて解説した様子が放送されました。
NHK	「今日の健康」	3月3日～5日	上部消化管科 三輪 洋人 主任教授	「胃と食道の病気 最新情報」と題した特集にて、「胃食道逆流症」「機能性ディスペプシア」「胃潰瘍」の症状、原因、治療法や診断の重要性などについて、解説する様子が放送されました。
NHK	「ためしてガッテン」	3月12日	上部消化管科 三輪 洋人 主任教授	慢性的な胃の不調「機能性ディスペプシア」の症状や新薬「アコチアミド」について解説する様子が放送されました。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	3月18日	小児科 服部 益治 教授	耐性菌と院内感染について、感染の予防方法などについて解説した内容が放送されました。
サンテレビ	「ニュース」	3月25日	学校法人 兵庫医科大学	2015年4月開設予定の「兵庫医科大学 健康医学クリニック」の詳細について放送されました。

新聞・雑誌等 掲載情報 12月から3月

掲載媒体	掲載日	関係者	概要
朝日ファミリー (12月6日号)	12月5日	小児科 服部 益治 教授	「冬のかくれ脱水」に関する記事にて、症状や適切な水分補給などについてコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	12月5日	リハビリテーション学部 高次脳機能障害の人と家族に関する記事にて、佐野恭子准教授が提案した「頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会」の活動の様子が掲載されました。	
神戸新聞(朝刊)	12月5日	産科婦人科 和田 龍助 准教授	神戸市内で「カップルで取り組もう不妊治療」をテーマとした市民公開講座が開催され、講演の中でコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	12月6日	腎・透析科 中西 健 主任教授	「慢性腎臓病」に関する記事にて、病気の特徴や末期の状態での治療法などについてコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	12月10日	兵庫医科大学	下村文部科学相が2014年度に定員を増やす医学部のうち、兵庫医科大学が申請した2人分の許可を大学設置・学校法人審議会に諮問したという内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	12月12日	循環器内科 廣谷 信一 講師	「サウナで心不全治療」と題された記事にて、心臓に負担がかからず、副作用の少ない「和温療法」についてコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)、日本経済新聞(朝刊)、読売新聞(朝刊)、中日新聞(朝刊)	12月17日	兵庫医科大学	医学部の定員増加に関する記事にて、兵庫医科大学が申請した「研究医枠」の2人分について増員を認める答申がなされたという内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	12月19日	兵庫医科大学	「兵庫医大に研究医コース」と題された記事にて、兵庫医科大学が発表した2014年度「研究医コース」に関する内容について掲載されました。
朝日新聞(朝刊)	12月22日	兵庫医科大学病院 耳鼻咽喉科 都築 建三 講師	「医師バンド登場」と題された記事にて、兵庫医科大学病院で開催されたクリスマス音楽祭に関する内容と、出演した都築建三講師がコメントした内容が掲載されました。

掲載媒体	掲載日	関係者	概要
読売新聞 関東版(朝刊)	12月22日	呼吸器・RCU科 中野 孝司主任 教授	「胸膜中皮腫」に関する記事にて、病気の症状や手術方法や治療方法などについてコメントした内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	12月25日	小児科 服部 益治 教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、服部益治教授が監修を行った「昔ながらの体の常識 ウソ?ホント? vol.1【発熱と解熱】」と題された記事が掲載されました。
陸奥新報	1月9日	小児科 服部 益治 教授	ノロ、ロタウイルスに関する記事にて、「冬脱水」による症状や予防策などについて解説した内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	1月11日	ペインクリニック部 村川 和重 主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにて、がん疼痛に対する治療や効果などについて解説した内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	1月12日	整形外科 森山 徳秀 講師	「腰椎椎間板ヘルニア」や「腰部脊柱管狭窄症」の症状や治療について解説した内容が掲載されました。
日本経済新聞(朝刊)、神戸新聞(朝刊)、毎日新聞(朝刊)	1月17日	公衆衛生学 島 正之 主任教授	北京の日本大使館で開催された大気汚染に関する相談会で、PM2.5の健康への影響や予防対策などについてコメントした内容が掲載されました。
日本経済新聞(夕刊)	1月20日	超音波センター 飯島 尋子 センター長	「抗がん剤効果、超音波で判定」と題された記事にて、肝臓がん患者に投与した抗がん剤が効いているかどうか超音波で調べるシステムについて解説した内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	1月23日	小児科 服部 益治 教授	インフルエンザ、ノロウイルスに関する記事にて、感染した際の経口補水液での対策などについて解説した内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	1月25日	皮膚科 山本 雅章 助教	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、山本雅章助教が監修を行った「昔ながらの体の常識 ウソ?ホント? vol.2【美肌ケアとコラーゲン】」と題された記事が掲載されました。
産経新聞(朝刊)	1月26日	乳腺・内分泌外科 三好 康雄 主任教授	乳がんに関する記事にて、乳がんセミナーで講演を行った「ホルモン療法」について解説した内容が掲載されました。
産経新聞(朝刊広告)	1月30日	兵庫医科大学 中西 憲司 学長	兵庫医科大学が特集され、中西憲司学長の挨拶や沿革、独自の教育内容などが掲載されました。
読売新聞(朝刊)、神戸新聞(朝刊)	1月31日	糖尿病・内分泌・代謝科 難波 光義 主任教授	難波光義主任教授が新病院長に就任すると発表した内容が掲載されました。
CO-op ステーション	2月1日	共通教育センター 内科学 常見 幸 講師	「美人をつくるバスタイム」と題された記事にて、解説した内容が掲載されました。
神戸新聞折込み 奥さま手帳	2月1日	公衆衛生学 島 正之 主任教授	PM2.5の健康への影響や花粉症との関係などについて、解説した内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	2月2日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(頭頸部がん)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2012年)が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	2月25日	リハビリテーション学部 坂口 顕 准教授	「キャンパス通信ボーイ4大学連携講座」コーナーにて、「電気刺激療法」と題し、電気刺激を用いた治療や研究について、寄稿された内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	2月27日	総合診療科 立花 久大 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、立花久大主任教授が監修を行った「昔ながらの体の常識 ウソ?ホント? vol.3【立ちくらみと貧血】」と題された記事が掲載されました。
朝日新聞(朝刊)	2月27日	公衆衛生学 島 正之 主任教授	超微粒子状物質PM2.5への対応についてコメントした内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	3月2日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(食道がん)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2013年)が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	3月4日	リハビリテーション学部 森 明子 講師	「キャンパス通信ボーイ4大学連携講座」コーナーにて、「女性特有の悩みに対する理学療法」と題し、骨盤底筋体操による治療や研究について、寄稿された内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	3月9日	IBDセンター 池内 浩基 センター長	深化する医療と題された記事にて、兵庫医科大学病院独特の炎症性腸疾患の手術による、手術時間の短縮の効果などについて、コメントした内容が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	3月11日	リハビリテーション学部 佐野 恭子 准教授	「キャンパス通信ボーイ4大学連携講座」コーナーにて、「作業療法の役割」と題し、患者さんのADL(日常生活動作)能力と地域社会における役割や、生きがいの(再)獲得につながることの重要性について、寄稿された内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	3月16日	血液浄化センター 横山 陽子 助教	深化する医療と題された記事にて、兵庫医科大学病院が世界に先駆けて開発した「血球成分除去療法」の腫瘍性大腸炎に対する効果などについて、コメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	3月18日	公衆衛生学 島 正之 主任教授	PM2.5の濃度上昇に伴う健康への影響について、コメントした内容が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	3月18日	リハビリテーション学部 櫛邊 勇 講師	「キャンパス通信ボーイ4大学連携講座」コーナーにて、「ハンドセラピスト」と題し、ハンドセラピストの役割や育成などについて寄稿された内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)、神戸新聞(朝刊)	3月19日	兵庫医科大学	国家試験合格発表に関する記事にて、兵庫医科大学の合格率が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	3月19日	兵庫医科大学	「新棟 避難者受け入れ万全」と題された記事にて、兵庫医科大学が建設を計画している新教育研究棟の、南海トラフ地震による津波への対策についての内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	3月23日	IBDセンター 中村 志郎 教授	深化する医療と題された記事にて、炎症性腸疾患の治療を地域の医療機関で受診できる体制づくりなどについて、コメントした内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	3月25日	小児科 服部 益治 教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、服部益治教授が監修を行った「昔ながらの体の常識 ウソ?ホント? vol.4【熱中症と水分補給】」と題された記事が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	3月25日	リハビリテーション学部 坂本 利恵 講師	「キャンパス通信ボーイ4大学連携講座」コーナーにて、「認知症の作業療法」と題し、ストレス軽減による症状の出現抑制などについて寄稿された内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	3月26日	学校法人 兵庫医科大学	2015年4月に開設予定の「兵庫医科大学 健康医学クリニック」についての内容が掲載されました。
日本経済新聞(夕刊)	3月27日	兵庫医科大学病院	「日経実力病院調査 閉塞性動脈疾患治療の実力病院」と題された記事にて、2012年4月～2013年3月における兵庫医科大学病院の閉塞性動脈疾患治療のデータが掲載されました。

教職員の皆さんへ 広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載許諾があった場合は総務企画部広報課へご連絡ください。

心地よい場所で、穏やかに流れる特別な時間

随時見学
受付中

2013年12月
OPEN

ゴールデンウィーク期間中の
体験ステイプラン好評受付中

『朝日のあたる家』～全室南向き・東向き～

【概要】●所在地:兵庫県西宮市若山町8番17号●事業主体:社会福祉法人 千種会●類型:介護付有料老人ホーム●開設年月:平成25年12月●構造:鉄筋コンクリート造5階建●敷地面積:1,580.92㎡●延床面積:3,067.52㎡●総戸数:59戸(全室個室)●居室面積:21.6㎡●居住の契約形態:利用権方式●入居時の要件:要介護・要支援●一般型の介護にかかわる職員体制/2:1以上●介護保険:西宮市指定介護保険特定施設(一般型特定施設)●利用料の支払い方式:月額払い●居住費:244,000円/月●共益費:60,000円/月(内訳:設備維持・管理・保守費用)●食費:60,000円/月●介護費:20,000円/月●今回募集戸数:58戸●サービス付高齢者向け住宅登録済み ●広告有効期限:平成26年5月31日



More Health

より健やかに

ご希望により連携する在宅療養支援診療所のドクターが24時間365日皆様の健康をサポートします。また、精神科医師の監修のもと、認知症の改善・進行抑制を目的とした「脳リハビリプログラム」を導入し、皆様の症状のケアに努めます。

介護付有料老人ホーム

Le MONDO

介護付有料老人ホーム/デイサービスセンター/居宅介護支援センター

資料請求・お問い合わせは

☎0798-64-3333

【受付時間】9:00～18:00(土・日・祝含む)

〒663-8016 兵庫県西宮市若山町8番17号

ちくさかい 検索 <http://www.chikusakai.jp>

阪急今津線門戸厄神駅から徒歩15分/西宮ガーデンズから車で10分

高齢社会と共に20余年 CHIKUSAKAI GROUP

社会福祉法人千種会グループは神戸市東灘区を中心に特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどを展開しています。

Foods

地産地消への
こだわり

米、肉、野菜などは兵庫県産にこだわり、厳選された食材を地元業者より仕入れています。調理には、ほぼ100%完全濾過し不純物を取り除いたRO水を使用。体に入るものだからこそ、安全にこだわり、産地にこだわり、良いものをより美味しくご提供したいと考えています。

Relax

心地よさへの
こだわり

暮らしの細部にいたるまで、心地よさをお届けします。館内を満たすアロマの香り、清潔に洗い上げられたふわふわのタオル、そして何よりも、毎日の清掃によって清められた空気が、住まう人の心に清涼な風を運びます。

Coffee

カフェのある
暮らし

専用のカフェスペースで過ごすくつろぎのひとつ。ご家族やお友達との語らひのとき、一人で読書したいとき、芳醇な珈琲の香りに包まれて、ゆったりとした時間をお過ごしください。



兵庫医科大学病院特別病棟

より良い療養環境を提供させていただくため、1号館12階に特別病棟を設けています。

病室はすべて個室で、液晶テレビ・DVDプレイヤー・冷蔵庫・電子レンジを配備し、他病棟の病室内ではご遠慮いただいております携帯電話、パソコンがご利用可能です。また、病棟へは専用のカードで出入りいただくよう、セキュリティも完備しています。

ゆっくりとおくつろぎ頂けるよう、新聞や自動販売機などを備えたデイルームもあり、静かでゆったりとした雰囲気の中で療養いただけます。



特別室ご希望の方は、担当医師・病棟スタッフにお申し出ください。詳しい設備・環境・見学は1号館1階入院受付までお問い合わせください。

お問い合わせはこちら
0798-45-6175

兵庫医科大学病院 PET センターは、悪性腫瘍と闘う患者さんや受診者の皆さん、主治医の先生方をサポートします。

先進的で高度な医療を推進する兵庫医科大学病院に、がんの早期発見や再発・転移などの診断に力を発揮するPETセンターが設立されてから、8年目となりました。PET/CT検査は最先端の放射線技術を結集した検査方法であり、がんの診療に欠かせない検査として発展しています。私たちはこれまで蓄えた豊富な知識と経験を基に、精度が高い新しい検査法・治療法の導入、サービスの向上に取り組んでいきます。特定機能病院として、地域の医療機関や先生方と連携してがん診療の一翼を担い、がんの制圧をめざして悪性腫瘍と闘うすべての人を支えていきます。



ご予約・お問い合わせ先
0120-6123-67 (フリーダイヤル)

受付時間：月～金 8:30～16:45 / 土 8:30～13:00
(第2・第4土曜日、日曜日、祝日、年末年始及び11月22日を除く)

おかげさまで今年10周年

学校法人 兵庫医科大学 事業法人
株式会社
有限会社
エイチ・アイ
エイチ・アイ・サービス

「事業会社の自由な発想」と
「何でもチャレンジの機動力」

各種幹旋：不動産、家電製品、引越業者紹介、貸衣装他
保険設計：＝ 団体扱自動車・火災保険、「学生総合補償制度」
取扱い等々・・・お気軽にお問合せ下さい。

兵庫医科大学内 Tel : 0798-45-6656 / 6673
HP : <http://hi-hyogo.com/hi.html>

ご意見をお聞かせください!

本誌ではみなさんのご意見・ご感想をもとに、親しみもてる誌面づくりを目指しています。

誌面のご感想や、ご要望、企画の提案、取材対象者のご紹介など、ぜひみなさんの声をお聞かせください。

【お問合せ先】
学校法人 兵庫医科大学 総務企画部 広報課

〒663-8501
兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL 0798-45-6655
FAX 0798-45-6219
Email kouhou@hyo-med.ac.jp



芝生広場の桜の木

5号館南側の芝生広場には、毎年春になると卒業生の記念として植えられた桜が咲き誇り、私たちの目を楽しませてくれていましたが、新教育研究棟建設に伴う工事に先立ち、2014年11月頃に移設作業が始まることにより、この景色も今年の春が見納めとなります。

一部は平成記念会館に移植されますが、7号館に平行して立っている5本の桜の樹(11期～15期卒業生記念樹)については樹木が大きく移植ができないので、接ぎ木をして遺伝子を残して植える予定です。

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



兵庫医科大学



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6111(代)
<http://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)
<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)



兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL:078-304-3000(代)
<http://www.huhs.ac.jp/>



兵庫医科大学

ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地
TEL:079-552-1181(代)
<http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

学校法人兵庫医科大学では、創立40周年を記念して医学教育、研究、診療をさらに充実・推進するため、新教育研究棟の建設を予定しており、そのための寄付金を受け入れております。

詳細は学校法人兵庫医科大学開学40周年記念事業募金ホームページ

(<http://www.hyo-med-anniv.com/>)か募金推進室(TEL:0120-456-991)までお問い合わせください。